

エシカル消費出前講座 広報誌での普及啓発「エシカル消費教室」

板野町 産業課

事業内容

平成29年度から地域課題の解決や持続可能な町づくりを実現する取組を推進する徳島版「地方創生特区」事業の認定を受け、産業課と消費生活相談所の連携で「エシカル消費の推進」に取り組んでいる。まずは、言葉を知ってもらうことから始め、相談所で行う出前講座において「消費者被害防止啓発とエシカル消費」講座を実施した。子どもから高齢者まで、全ての町民に「エシカル消費」は自分ごとであると捉えて、日々実践できる消費者になってもらうことを目指し、啓発に取り組んでいる。また、難しく思われがちなエシカル消費に親しみを持ってもらえるように、“おもしろおかしく、わかりやすく”をテーマにした「エシカル消費教室」を広報誌に2年間毎月掲載した。

事業名	エシカル消費出前講座	広報誌での啓発
実施年度	平成29年度～継続中	平成29年度～令和元年度
予算	—	385千円（令和元年度）
消費者行政強化 交付金活用額	なし	なし
対象	板野町民	板野町民
参加人数	平成29年度：281名 平成30年度：662名 令和元年度：417名	—
宣伝方法	チラシ等	広報誌、ホームページ



エシカル消費教室

事業の特徴・ポイント

エシカル消費出前講座は、消費生活相談所が既に実施していた出前講座の中で、消費者トラブルと併せてエシカル消費の内容を取り入れた。

エシカル消費啓発のために工夫した点・今後の課題等

出前講座では、町民のどの世代にも広く浸透させるために、啓発の機会、場所、対象、内容などを柔軟に対応できるよう工夫している。例えば、高齢者や地域の団体などを対象とした場合、相談員が団体の会合に出向いて講座を展開する。また、食品ロスを題材にした大型紙芝居などを作製しおもしろおかしくエシカル消費を伝えたり、実際の商品を展示して手に取ってもらったりするなど体験型の講座を中心としている。さらに、教育委員会と連携した子供教室でのエシカル消費教室では、シールやカルタ、クイズ形式の教材を作製したり、消費者庁や徳島県の資料なども活用している。地域の既存の団体などと連携することで、エシカル消費の啓発だけでなく、消費者被害の啓発もしやすくなったと感じる。

しかし、若年層の20～40代などの世代への啓発の機会が少ないため、今後発展させていきたい。また、エシカル消費を「行動する」消費者へ、そして、SDGsという大きな目標に向かうための取組ができるよう、継続していきたい。



出前講座の様子

事業の効果、成果

令和元年度に板野町消費生活相談所開設10年記念式典などに参加した416名にアンケートを実施したところ、「エシカル消費の言葉と意味まで知っている」が58%、「エシカル消費を知ったのはエシカル消費教室・相談所の啓発」の回答者が71%と、啓発活動によってエシカル消費が住民の方に浸透していると考えられる。